

# のだネット通信



**中核地域生活支援センター のだネット**（千葉県委託事業・野田健康福祉圏域）  
TEL 04-7127-5366 / FAX 04-7127-5367  
〒270-0235 野田市尾崎840-32 / E-mail noda-net.kusunoki@nifty.com  
<http://homepage2.nifty.com/noda-net/>

## コーディネーター便り



### 中核地域生活支援センター大会 in 2016開催

『自立を育む地域社会を考える～子どもたち・若者たちの声、聞こえていますか～』7月11日に千葉市生涯学習センターで開催される今年度の大会では札幌市スクールソーシャルワーカー日置真世氏の基調講演後、子ども・若者の自立を育むための各地の取り組みを学びながら、必要な支援のあり方を考えます。

さて平成26年に「子どもの貧困対策に関する大綱」が策定され、子どもの将来が生まれ育った環境で左右されることのないよう、貧困が世代を超えて連鎖することのないよう、すべての子どもたちが夢と希望を持って成長していける社会の実現をめざし、総合的な施策の推進をめざすこととされています。行政だけではなく、さまざまな立場の関係者が力を合わせて子どもたちの育ちを見守っていくことが求められています。

野田圏域の子どもたちの中にも、朝食を食べないで登校、昼食は先生や友達に貰う高校生がいました。実態を調べてみると、親は多額の借金を抱え、家は競売にかけられ、数日後に退去の通告が来ていました。でも高校には通いたい、通わせたい……。高校生のアルバイト代も、病弱な祖父母の年金も家計費になっている状況でした。生活の立て直しの為、借家住まいへの引っ越し等を学校・地域包括支援センター・金銭管理の「日常生活自立支援事業」・フードバンク、中核センターが連携し支援をしました。

また、小学生の二人兄弟は空腹に耐えかね、スーパーでパンを盗み、警察に通報され児童相談所に保護されました。行政の支援を受けていた一人親家庭で、数か月前から実態は把握され、学校・教育委員会・中核センターも支援に入っていました、なかなか扉は開けて貰えませんでした。失業・障がい等、親も様々な困難を抱えている家庭が、たくさん埋もれているのが現状です。

（記：金城）

## 連絡調整会議 報告

平成28年2月29日千葉県野田健康福祉センターにて連絡調整会議を開催しました。関係機関の皆さんに出席していただき、野田の現状について共有する時間となった。

障がい者支援から「地域生活拠点事業」の進捗状況や各機関で抱えている問題点などを出し合った。

問題解決に向けて協力して取り組んでいけたらと考えています。



（記：五十嵐）

心が元気になるための話し合いの場

## 心のケアサポート「ザ・トライ」

一人で悩まないで温かいお茶と少しのお菓子をつまみながら一緒に話してみませんか？  
心が軽くなるかも！？

日程：毎月第1土曜日（13:30～15:30）

<今後の予定> 変更の場合がありますので、ご確認の電話をしてください。

7月2日、8月5日、9月3日、10月1日、11月5日、12月3日、平成29年2月4日、3月4日

開催場所：NPO法人子育てネットワークゆっくく  
（野田市岩名2丁目9番地の14）



主催：ザ・トライ事務局・スタッフ

（中核地域生活支援センターのだネット、NPO法人子育てネットワークゆっくく、精神保健福祉士 他）

問い合わせは「のだネット」まで

## 講演会「障がいを持つ子のための親の終活」を開催します

障害を持つ子供の親御さんは「親亡き後」について心配されている方が多くいます。特にお金の問題は重要です。今回は「親が障害を持つ子にどんな形で資産を残せばいいのか」に焦点を当てて、法律・ライフプラン・福祉現場のそれぞれの視点から講演会を開催します。

日 時：平成28年7月23日（土）13:30～

会 場：野田市総合福祉会館 3階 第3会議室

定 員：80名

参加費：無料



<シンポジスト>

高山 聡宏氏（野田総合法律事務所 弁護士）

西村 貞男氏（柏市地域生活支援センターあいネット ファイナンシャルプランナー）

増田 雅樹氏（社会福祉法人野田芽吹会 芽吹学園 支援課長）

<コーディネーター>

大野 祐子氏（野田市自閉症協会 会長）

【申込み・お問い合わせ先】（申込み締め切り：7月15日）

のだネット TEL:04-7127-5366/FAX:04-7127-5367

（記：五十嵐）

## ゆったりカフェのお知らせ

障がいの種別は問わず、ふらっと遊びに来れる場を企画しました♪  
申込は不要です。



### 【最近の活動】

□4月3日(日) 花見 参加者8名

清水公園を1時間ほどかけて散策しました。日本さくら名所100選だけあって約2000本の桜は見事でした。中でも樹齢100年の「劫初桜」は貫禄がありました。大きな「しだれ桜」も素敵でした。

□5月1日(日) 茶話会 参加者11名

中央公民館会議室にて、お茶を飲みながらサイコロトークと心理テストを行いました。サイコロトークでは意外な一面や過去の思い出で花が咲きました。心理テストでは「本当の性格」「向いている職業」などがわかるもので当たるも八卦当たらずも八卦的な感じですがみんなで楽しむことができました。



□6月5日(日) フライパンでピザ作り 参加者19名

中央公民館調理実習室にてピザを作りました。生地から手作りですが簡単なレシピは簡単なものです。生地を作る班と生地を丸く伸ばす班、焼いてトッピングする班とに分かれて、それぞれの得意な所で才能を発揮され美味しいピザが出来上がりました。

今年度から野田市社会福祉協議会のボランティアセンター様のご協力によりボランティアさんに参加していただけるようになりました。障がいの方への理解にもつながりますし、何より利用される方が嬉しそうなので今後も継続してボランティアさんをお願いしていきたくと思っています。

### 【今後の予定】

7月3日絵手紙、8月7日ゲーム大会、9月4日茶話会(参加費100円)を予定しています。  
是非ご参加下さい。

(問い合わせはのだネットまで)

## 趣味の部屋



今回は以前にも絵を掲載した方に協力していただきました。

自分の作品を見てもらいたいと言う方！作品はいつでも受け付けていますのでのだネットまでご連絡下さい！

(担当 五十嵐)

## お知らせ

### □中核地域生活支援センター大会in2016

日 時:平成28年7月11日(月)10:00~16:00 会 場:千葉市生涯学習センター2階 ホール

定 員:300名

参加費:無料

テーマ:「自立を育む地域社会を考える

~子どもたち・若者たちの声、聞こえていますか~」

基調講演(10:00~12:00)

「私たちの声、届いていますか?~生きづらさを抱えた若者たちと一緒に考えたこと~」

日置 真世さんと若者たち ●札幌市スクールソーシャルワーカーほか

札幌市で「NPO法人地域支援ネットワークサロン」を立ち上げ、障がいのある人たちの支援、若者支援等に関する。その後、札幌市のスクールソーシャルワーカー等。虐待、不登校、精神疾患、自殺未遂など様々な生きづらさを抱えた若者たちの自助グループ

報告(13:00~13:30)

中核地域生活支援センター実践報告



シンポジウム(13:30~16:00)

「私たちにできること」

<パネリスト>

梅澤 岳さん(市川こども食堂ネットワーク 副代表)

高橋 克己さん(社会福祉法人生活クラブ はぐくみの杜君津 施設長)

石川 豪志さん(千葉県立障害者高等技術専門校 主査)

<コメンテーター>

日置 真世さん

<コーディネーター>

渋沢 茂さん(中核地域生活支援センター長生ひなた センター長)

主催:千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会

お問合せ先:中核地域生活支援センター「ひだまり」 TEL:0470-28-5667/FAX:0470-28-5668

### ◆.....◆ □認定NPO法人 東葛市民後見人の会 無料相談会 「成年後見なんでも相談」

日 時:平成28年7月7日(木)13:00~16:00 会 場:野田市総合福祉会館 2階 第1会議室

主 催:認定NPO法人東葛市民後見人の会 野田支部

連絡先:090-1087-5203(斉藤)

※お願い!! じっくりとお話をお聞きするため、またお待たせしないため、ご予約ください

※今後も毎月、第1水曜日13:00~16:00に相談会を開催する予定です。

## 編集後記

暑くなりましたので熱中症や食中毒に気をつけてお過ごしください。

(記:五十嵐)













